

いのうただたかきねんかん
伊能忠敬記念館だより No. 5

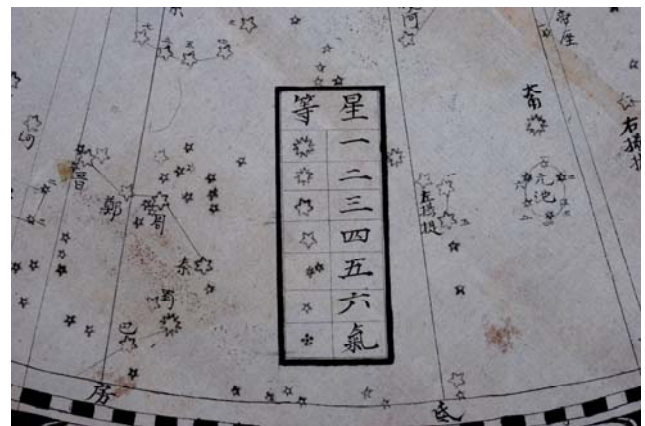
お知らせ

記念館では、追加指定記念特別展『重要文化財伊能忠敬関係資

料』展を9月15日（火）から11月15日（日）まで開催します。

伊能忠敬は、江戸時代に実際に日本を測って正確な地図を作った人ということは皆さんも知っていると思いますが、その資料は、伊能家がずっと守ってきました。そして、そのうちの約1,000点が昭和32年に国の重要文化財として指定を受けていました。今回、伊能家から多くの資料をいただき、その中から貴重な資料を加えて、2,345点となりました。今回は、

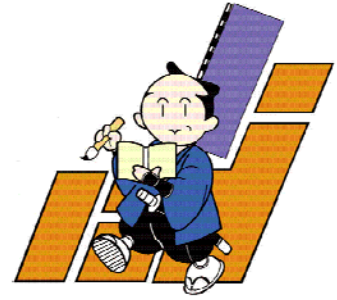
追加された資料を中心に、忠敬の地図はどのように出来上がっていったか、また孫の忠誨が苦心して制作した星座図など貴重な資料を、わかりやすく展示します。



伊能忠誨星座図

(香取市内の小・中・高校生はいつでも無料で入館できます！！)

『クイズ忠敬』に挑戦しよう



(1) 忠敬は江戸に何をしに行ったのですか？

- ①遊び ②買い物 ③勉強

(2) 忠敬は誰の弟子になりましたか？

- ①青木秀夫 ②高橋至時 ③立沢富夫

(3) 先生は何歳年下ですか？

- ①19歳 ②1歳 ③9歳

(4) 江戸ではどこに住みましたか？

- ①皇居 ②黒江町 ③銀座

(5) 忠敬についてあだ名は？

- ①たたくん ②ちーば ③すいほ



黒江町住居跡石碑

伊能忠敬物語(5)

忠敬は50歳で江戸に出て、そこで19歳も年下であった高橋至時の弟子となりました。忠敬は佐原にいるときからすでに独学で勉強をしていましたが、深川黒江町(今の東京都江東区門前仲町)の自宅にはたくさんの天体観測をする道具を自分で買い揃え、本格的に観測や勉強を大変熱心に行いました。その成果として、日本で初めて真昼に金星の観測に成功しました。また、先生と話をしている時でも、観測の時間になると、あわてて家に戻ってしまい、先生の家にはいろいろと忘れ物をしてしまうこともあったようです。そんな忠敬の様子を見て至時先生は、忠敬のことを「推歩先生」(天体観測の計算を推歩といいます)とあだ名して呼びました。

伊能忠敬記念館だより No.5 発行日 平成21年8月31日

発行者 伊能忠敬記念館

〒287-0003 香取市佐原イ1722-1 電話 0478-54-1118 FAX 0478-54-3649

クイズの答え (1)－③ (2)－②、(3)－①、(4)－②、(5)－③